

安全活動計る国際基準

ISO39001普及状況と課題

昨年10月1日に発行された道路交通安全マネジメントの国際標準規格ISO39001は、国内では12者が認証を取得した(2月28日時点)。ISO規格としてはハイペースではあるが、更なる拡大に向けては、特に親和性が高いとされるトラック事業者への普及が力点を握る。取得したトラック事業者と、認証機関、コンサルタント、国内事務局の関係各者に、制度の概要や取得した経緯、活用状況、普及に向けた展望などを話し合ってもらった。

他規格に比べて普及 世界レベルで日本が



藤永氏

八木 まずは国内事務局とた自負しています。道路交通安全の取り組みに関し日本は、かなり進んでおり、道路運送法や貨物自動車運送事業法といった法制度、警察による交通規制のほか、06年には連年、発展途上国でモータリゼーションが進展し、インドや中国など人口の多い国で車の増加に伴い交通事故が増えることは、人類にとつての大きな損失です。こうした趨勢(すうせい)を踏まえ、2007年にスウェーデンが提唱し、規格化するための検討が始まりました。その後、延べ7回にわたる国際会議を経て発行に至りました。

日本は第2回の国際会議から参加し、積極的に意見を表明するなど、影響力を行使し

安マネ制度は品質管理のISO9001をベースに制定されましたが、(39001規格化)の議論では、安マネ制度の経験を生かし提言することができ、これが反映されることでかなりの整合性が図られました。ISOにも9001や環境の14001のほかにも情報セキュリティ、食品安全などの規格があり、複数取得した事業者も少なくないと思います。

これまでの認証取得の推移や審査に当たつてのポイント、取得事業者の反応などに

現在、JQAは10社が取り合われている。また、社の全てが事業行する事業者で会社やカーリー多岐にわたります。39001の

39001では、幹の部分規格間の共通するハイレベルストラクチャー(HLS)にいち早く対応しています。他の規格を取得する際に、議で報告させて

損保ジャパンは、各規格で内容が微妙に異なっており、手間が掛かります。39001では、幹の部分規格間の共通するハイレベルストラクチャー(HLS)にいち早く対応しています。他の規格を取得する際に、議で報告させて



加藤氏



渡辺氏



出席者(順不同)

名正運輸 社長

加藤 新一氏

渡辺物流 社長

渡辺 健氏

福山通運 運行管理部長

藤永 興作氏

日本品質保証機構/ISO中部支部長

増田 信夫氏

BSIグループジャパン 執行役認証事業本部長

西中 宏氏

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント/自動車リスクコンサルティング本部企画開発部長

竹村 公一氏

〈司会〉自動車事故対策機構/審議役

八木 一夫氏

企業紹介(順不同)

①本社(本部)所在地②設立年③グループ売上高④従業員数⑤車両数⑥主な取り扱い貨物⑦代表者⑧事業概要

名正運輸

①愛知県飛島村②1969年③52億円(12年3月期)④1200人⑤300両⑥一般加工食品、雑貨、日用品

渡辺物流

①栃木県真岡市②1989年③7億円(12年3月期)④68人⑤49両⑥自動車部品